最新の産業別売上高をチェック

今年5月末に、令和3年経済センサス活動調査の速報※が発表されました。ここではその結果から、産業別の売上高、いわゆる市場規模に関するデータをみていきます。

売上高は1,700兆円を突破

上記調査結果によると、2020年の産業全体（合計）の売上高は1,702兆201億円でした。前回調査の2015年とは消費税率等が異なり単純に比較できませんが、4.8%の増加です。

産業別では卸売業, 小売業が481兆円で最も高く、次いで製造業が391兆円、医療, 福祉が173兆円で続いています。建設業と金融業, 保険業も100兆円を超えました。

全体に占める割合では、卸売業, 小売業と製造業が20%を超えました。

純付加価値額は300兆円超に

2020年の純付加価値額は337兆1,437億円でした。産業別では医療, 福祉が71兆円で最も高く、製造業が65兆円で続いています。

全体に占める割合では医療, 福祉が21.1%、製造業が19.3%などとなりました。

人口が減少傾向にあることから、市場が縮小する産業も増えることが予想されます。5年後の調査結果では、どのように変化しているでしょうか。

2020年の産業分類別売上高と純付加価値額

	売上高（億円）		純付加価値額（億円）		【参考】2015年の売上高（億円）
		合計に占める割合（%）		合計に占める割合（%）	
合計	17,020,201	100.0	3,371,437	100.0	16,247,143
農林漁業	59,616	0.4	11,649	0.3	49,939
鉱業, 採石業, 砂利採取業	13,306	0.1	3,599	0.1	20,441
建設業	1,210,532	7.1	237,133	7.0	1,084,509
製造業	3,909,934	23.0	651,543	19.3	3,962,754
電気･ガス･熱供給･水道業	362,170	2.1	40,906	1.2	262,424
情報通信業	739,931	4.3	194,242	5.8	599,456
運輸業, 郵便業	634,065	3.7	133,452	4.0	647,906
卸売業, 小売業	4,814,654	28.3	485,584	14.4	5,007,943
金融業, 保険業	1,190,007	7.0	190,739	5.7	1,251,303
不動産業, 物品賃貸業	580,406	3.4	109,007	3.2	460,553
学術研究, 専門･技術サービス業	507,174	3.0	202,702	6.0	415,017
宿泊業, 飲食サービス業	205,932	1.2	60,518	1.8	254,815
生活関連サービス業, 娯楽業	308,630	1.8	46,957	1.4	456,611
教育, 学習支援業	172,119	1.0	79,151	2.3	154,101
医療, 福祉	1,731,927	10.2	712,916	21.1	1,114,880
複合サービス事業	88,438	0.5	36,226	1.1	95,955
サービス業（他に分類されないもの）	491,359	2.9	175,112	5.2	408,536

総務省「令和3年経済センサス - 活動調査 速報集計」より作成

※総務省・経済産業省「令和3年経済センサス - 活動調査 速報集計」
農林漁業の個人経営など一部の事業所を除く、国内すべての事業所・企業を対象にした調査です。ここでの売上高は、回答のあった企業等の数値を集計したもので、消費税込みの金額です。また純付加価値額は、次の計算式によります。　純付加価値額＝売上高－（費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費））＋給与総額＋租税公課　詳細は次のURLのページから確認いただけます。https://www.stat.go.jp/data/e-census/2021/kekka/index.html